

インドマザーテレサボランティアとホームステイプログラム

参加期間

2012年11月6日～12月4日 4週間

参加動機

マザーテレサに興味があった。将来就きたい職業に活かす為に海外の子ども達の様子を知りたかったから。

ホームステイ滞在に関して

家族構成	お父さん お母さん その他（娘夫婦とお孫さんがよく遊びに来ていた）
ペット	無
食事	おいしかった
生活形態（日本での生活と較べて異なる点、注意点など）	
夜ご飯は20時位に用意してくれましたが、ファミリーは22時位に食べるそうです。夕方においしい紅茶とお菓子を出してくれます。辛いものが苦手なのを伝えるとノンスパイシーカレーを作ってくれました。シャワーとトイレが一緒になっていて、私の家は水しか出ないシャワーでしたが一度風邪をひいてからは電熱器を用意してくれました。お手伝いさんが何人か居て出入りするの部屋に物を出しっぱなしにするのはよくないです。割と蚊が多いので虫除けスプレーや殺虫剤を持っていく方が良いでしょう。	
感想	
老夫婦が私のホストファミリーでしたが、とても優しく親切でした。ご飯の時間や起床時刻は全て私に聞いて、合わせてくれていました。不便なこともありましたが、何日かすると慣れて自分の生活スタイルができてきます。毎日カレーなのはちょっと飽きちゃいました(笑)	

ボランティア活動に関して

カリガート（死を待つ人々の家） シシュババン（障害孤児院）
活動内容と感想（活動期間、回数、時間等も併せてご記入下さい。）
カリガート(一日だけ・午後)：洗濯・洗濯物干し・夕食の配布・食器洗い 余った時間はお婆ちゃん達の相手をします。マッサージや衣服交換のお手伝いなどをしますが、精神的な障害を持った方も多く意思疎通が難しいことも。ただ、思っていたより入所しているお婆ちゃん達が元気でご飯もよく食べるし喧嘩をしている姿も見かけました。施設は8月に新しくなったらしく、清潔感もありました。治療側に携わるとうじ虫を取ったりすることもあるみたいです。行く日によって現場の雰囲気が変わると思います。(重症の方が多いかどうか) シシュババン(3週間・午前)：子どもと遊ぶ・オムツ換え・おやつとご飯を食べさせる 私が行ったのは障害孤児の方で20人位の3歳～16歳の子ども達がいきました。10代の子といっても見た目は7歳位です。脳に障害を持った子が多くほとんどの子が歩くことや喋ることができません。中には盲目の子もいます。始めはそんな子ども達相手にどう遊んだらいいかわからず、戸惑っていましたが、子供達は何かアクションをすると笑ってくれてとても可愛いです。ご飯を食

べるのが嫌いな子が多く途中で泣いてしまう子も多くいたのですが、ボランティアがおろおろしているとマーシー達（現場で働くインド人の女性）が代わりに食べさせてくれます。でも、それがあまりに無理やり過ぎてそれでいいのかなと疑問を感じることもありました。でも仕方ないことなのかもしれません。毎日子ども達と会っていると自然と愛着が湧いてきてボランティアが最終日は離れるのが寂しかったです。障害のある子もない子も可愛さは変わらないです。

ホームステイ先からボランティア施設までの交通手段は？

カリガート

バス停まで徒歩(10分)→バス(10分)→地下鉄ベルガチア駅からカリガート駅(20分)→
→徒歩(10分)→カリガート

シシュババン

バス停まで徒歩(10分)→バス(45分)→マザーハウス→徒歩(5分)→シシュババン

Cultural activities に関して

*受講された項目のお値段、感想をお聞かせ下さい。

英会話レッスン

ベンガル語レッスン

ホームステイ先のお父さんが教えてくれました。英語で説明してくれます。簡単な挨拶や数字などを教えてもらいました。また、ボランティア先で使えるような言葉を教えてもらい、少しだけですが活かすことができました。

YOGA

ストレッチと瞑想たまに筋トレという感じです。想像していたより簡単で体がすごく硬い私でもなんとかできました。(1回 100 ルピー)

Indian Cooking

Bollywood Movie

ヒンディー語は全くわかりませんが、話の内容はだいたいわかりました。私は学園モノを観たのですが歌って踊って賑やかでとても楽しい作品でした。(1回 250 ルピー)

持ち物に関して

日本より用意し、役に立ったものは？

スリッパ2足（部屋履き用とバスルーム用）、ウェットティッシュ、手指消毒ジェル、アイボン
水に流せるポケットティッシュ、携帯用ポット(毎朝ホットタオルを作って顔を拭いていた)、ムヒ
その他、便利だと思うものは？

目薬・マスク・うがい薬（粉塵がすごいので） ポカリスエットの粉

常備薬（頭痛・生理痛薬や咳・鼻水止め、胃薬）

私は3週目から咳と鼻水が止まらなくなりました。食あたりに関しては日本の薬は役に立ちません。カロルに相談して現地で薬を買うのが一番良いと思います。

コルカタ市に関して

お勧めの観光スポット、お店、レストラン等があればお知らせ下さい。

ドッキネシヨル寺院、ビルラー寺院、jojo's カフェ(Wi-Fi 無料・サダルストリートにある)、シティーセンター(日本のショッピングモールみたいな感じ)、pantaloon(日用品と食品が買える清潔感のあるデパート)

いろんな所に行きましたがコルカタはコルカタの町並みや住んでいる人々を見るのが一番おもしろいです！

反対にお勧めできない場所等があればその理由もお知らせ下さい。

ナコーダマスジット(周辺が危ないので一人で行くのをファミリーに止められた)

カーリー寺院(中があまり綺麗ではなく、裸足で歩くのが嫌だった。頼みもしていないのにインド人が勝手に案内してきて 10 ルピー要求された。断ったが謎の祈祷をされた場合は 1000 ルピー要求されることもある。裸足が大丈夫で断る勇気があれば行ってみる価値はあると思います。)

ネルチルドレン博物館 (世界中の人形が展示してあるだけ)

コルカタ以外の街を訪れた方は下記の質問にお答えください。

どちらに行かれましたか？

サールナート、バラナシ、アグラ、ジャイプール、デリー (4泊5日)

交通手段、かかった時間、費用は？

オプションツアーに申し込んだので 10 万円

(電車代、航空機代、車代、ホテル代、ガイド代、飲食代、入場料代込みでツアー中にこちらが払うことはほとんどありませんでした。)

感想

カロールと 2 人の旅でしたが、行く先々に現地のガイドさん、運転手さんがいてお嬢様気分でした(笑)カロールが詳しくガイドしてくれるし、美味しいご飯を食べさせてくれるのでとても安全で快適なツアーでした。私はジャイプールを追加してツアーを組んでもらったのですが、個人的にジャイプールは綺麗で素敵な街なのでオススメです。バラナシでは夜と朝、2つの顔のガンジス河を見ることができました。ボートから見るガンジス河の日の出は幻想的で感動！

ご参加頂いた時期に関して

気候、お天気はどうでしたか？

雨は一回も降りませんでした。日中は日差しがキツイですが、朝は少し肌寒いので一枚羽織るものがいい。デリーやアグラの朝は結構寒かったです。

服装は？

半袖 or 長袖 + サルエルパンツ

スウェット生地のもは乾くのに時間がかかるのであまりオススメしません。

インドの物価に関して

ご参加時のレートは？ 1 ルピー = 約 (1.6) 円

何か購入されたものがあれば参考までお知らせ下さい。

(例：ミネラルウォーター 1L 12 ルピー (約 32 円)、焼き飯 30 ルピー (約 80 円) 等。)

ミネラルウォーター 1L 16 ルピー
サルエルパンツ 180 ルピー
シャンプー 120 ルピー
紅茶のパック（お土産用）120 ルピー
ご飯 60 ルピー～120 ルピー
乗り物代 5～7 ルピー
サリー 1000 ルピー～2000 ルピー

予防接種に関して

渡航にあたり予防接種を受けましたか？	はい
はいの方、その種類をお知らせ下さい。	
A型肝炎（在庫がなくて断られた病院もあったので早めに受けた方が良い）	

初海外で初インド。コルカタ空港に降り立った瞬間からカルチャーショックの嵐でした。騒音、排気ガス、危険な運転、渋滞、ゴミだらけの道、異臭...最初はビックリしましたが、一週間程すれば気にもなくなってきました。ツアーで何箇所か回りましたがコルカタが色んな意味で一番すごいです。まさに混沌という言葉が似合う街です。だからこそ一番おもしろい街でもありました。物乞い、道で洗濯や体を洗う人、チャイを飲む人、貧しい人から裕福な人まで色んな人々がごちゃごちゃに生活している空間で、街を少し歩くだけでも色んな発見があります。不便で汚いけれど、それもまた文化なのかなと感じました。日本人だとわかると詐欺目的のインド人に毎日声をかけられます。でも絶対に仲良くならないでください。カロールの言うことを守っていれば何も困ることはありません。それだけ注意してコルカタの街を歩いてみてください。本当に飽きさせることのない街です。

私は4日間程入院してしまいました。チキンロールを食べたのが原因のようですが、スパイシーフードが苦手なのに頑張って食べたり慣れない料理で胃が弱っていたのもあるみたいです。発症してからは地獄でした。お腹に自信がない人は気をつけてください。保険は絶対！！

入院などの世話はカロールが全てしてくれました。本当に感謝の言葉しかありません。ホストファミリーにも迷惑をかけてしまって申し訳ない気持ちでいっぱいでした。でも、将来医療の道に行く私にとって海外で入院というのは良い経験になりました。(笑)

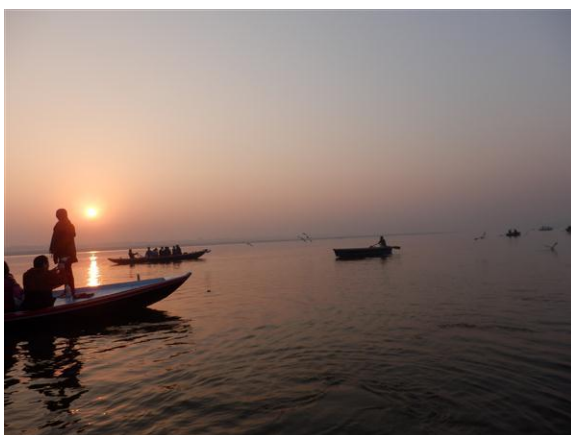
一ヶ月間、長いようであつという間でした。日本に帰ってくるともう一度インドに行きたい、子ども達に会いたいという気持ちになります。体調を崩したりいろいろありましたが、カロールが優しくて本当に頼りになります。現地で出会った日本人、外国人にも助けられて、楽しい旅にすることができました。感謝の気持ちを多く味わえたツアーだったと思います。ありがとうございました。



ガンジス河で沐浴をする人々



サダルストリートに向かう道で



ガンジス河の日の出



風の宮殿（ジャイプール）

その他、今後の参加者に何かアドバイスがあればご記入下さい。又、ご自身がインドで撮られた写真など、お貼り頂き、写真の説明文も加えて下さい。
最後に、あなたのことをお知らせ下さい。

お名前(イニシャル、ニックネーム可)	R・N	女性
年齢	20代	